

平成30年度学校経営方針

1 校訓 「強く 明るく のびのびと」

2 教育目標 「夢や志をもって、自立して未来に挑戦する児童の育成」

「強く 明るく のびのびと」の校訓を校是として、夢や志を持ってたくましく生き抜いていき、将来、国際社会の一員として様々な分野で活躍をして、次代をつなぐことのできる児童を育成する。

(1) めざす子ども像

元気・本気・根気・活気・勇氣

- ・ **強く**：我慢強い心、信念と勇氣、やり抜く力、勤勉
夢や志の実現に向けて、主体的に学び、仲間とのやりとりを通して学びを深め、自己の思いや考えをしっかりと持ち表現することのできる子。
- ・ **明るく**：清く正しい心、丈夫な体、円満な社会性、協力
きまりを守り、元気に活動をしようとする子。
支えあい、協力しあい、共に伸びようとする子。
- ・ **のびのびと**：ゆとりのある心、思いやりの心、成長していく心
思いやりや寛容な心を持ち、自他のいのちを大切にできる子。

(2) めざす教師像

- ・ 実践的指導力を有し、誇りを持って指導にあたる教師。
- ・ 一人一人の児童としっかりと向き合い、子どもたちの夢や目標の実現のために情熱をもってかかわる教師。
- ・ ワーク・ライフバランスを保ち、家庭、地域、職業人として自己有用感をもって活躍する教師。

(3) めざす学校像

- ・児童、保護者、地域、教師が誇りとする学校。
- ・児童と教師が心身とも健康で笑顔あふれる学校。
- ・あいさつや歌声の響く学校。
- ・学校、家庭、地域が一体となり、子どもにかかわる、社会に開かれた学校。

3 指導の重点

(1) 学習指導

- ・「生きる力」の基盤となる確かな学力の向上を図る。
- ・主体的、対話を通じた深い学びにより、判断力や創造力、活用力、コミュニケーション能力を培う。
- ・授業のユニバーサルデザイン化により、どの子にとってもわかりやすい授業づくりや学びの空間づくりの環境を整える。

(2) 生徒指導

- ・いじめの積極的な認知と未然防止、早期発見、早期対応における組織的対応の充実を図る。
- ・不登校の予防や支援の充実を図る。
- ・豊かな人間性と規範意識の定着を図り、誰もが安心して学び、生活のできる集団づくりを図る。

(3) キャリア教育

- ・社会的自立に必要な態度や能力を育てる。
- ・キャリアノートやキャリア教育指導資料等の積極的な活用を行う。
- ・キャリア形成にかかる体験活動及び事前・事後指導の充実を図る。
- ・自己の将来像を描き、学ぶことや働くことの意義・役割等を理解させ、キャリアプランニング能力を育成する。

(4) 特別支援教育

- ・ 一人一人の教育的ニーズを把握して、きめ細かく適切な教育支援を充実させる。
- ・ 関係機関との連携による組織的支援を行う。

(5) 特別活動

- ・ 児童の自治能力を高め、自発的に最後まで活動し抜く力の育成する。

(6) 人権教育

- ・ 「じろはったん」の精神を意識して、生活の中で実践していける力の育成を図る。
- ・ いじめ、インターネットによる人権侵害等、今日的な人権課題に対する理解の促進を図る。

(7) 図書館教育

- ・ 読書の機会を増やし、家庭と連携して読書活動の充実を図る。

(8) 総合的な学習の時間

- ・ ふるさとの自然、文化、人、伝統について学び、「ふるさと意識の醸成」を図り、郷土を誇り次代を担う人材を育成。

(9) 防災教育

- ・ 震災の教訓を生かし、「命を守る」防災・減災教育の推進。

(10) 道徳教育

- ・ 多様な考えにふれ、自己の考えを深める「対話」による道徳の授業の推進を図る。
- ・ 家庭・地域への道徳の授業公開の推進を図る。

(11) 情報教育

- ・急激な情報化社会に対応していくために「コンピュータの基本的な操作」や「情報モラル」、「情報手段を適切に活用できるようにするための学習活動」を家庭とも連携を図りながら、正しく身に付けさせる。

(12) 体育・スポーツ活動

- ・体力・集中力を高め、心身ともに健康で、進んで運動を楽しむ力の育成。

(13) 健康・安全・食育教育

- ・自分の体を知り、健康に過ごす態度を育成する。
- ・食に関する体験活動を通して食育の推進を図る。

(14) 国際理解教育

- ・英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。
- ・主体性やチャレンジ精神を持ち、国際社会で活躍・貢献する意欲・態度の育成を図る。

(15) 福祉教育

- ・今後急激に進む少子高齢化社会の課題も含め、変化の激しい社会の中、「みんなの幸せ」を意識させての福祉教育の推進。

(16) 環境教育

- ・体験活動を通して、環境を大切にする意欲や態度を育成。
- ・地域の人材や自然・風土をいかした学習素材の積極的な活用を図る。

(17) 教職員の資質と実践的指導力の向上

- ・教師としての強い信念と倫理観をそなえ、愛情、情熱を持って子どもと向き合い、共に学び続ける職員組織の構築する。